

参考 2

1 火災の概況

(単位：千円)

(1) 平成 21 年の火災発生状況 (速報値)

区分	平成 21 年累計 (A)	平成 20 年累計 (B)	累計増減 (C)=(A)-(B)	累計増減率 (C)/(B)×100
出火件数	1,316	1,325	▲ 9	▲ 0.7
建物火災	667	717	▲ 50	▲ 7.0
林野火災	112	102	10	9.8
車両火災	103	116	▲ 13	▲ 11.2
船舶火災	6	6	0	0.0
航空機火災				
その他火災	428	384	44	11.5
焼損棟数	989	967	22	2.3
り災世帯数	674	645	29	4.5
建物焼損床面積 (㎡)	31,900	28,556	3,344	11.7
建物焼損表面積 (㎡)	4,019	4,681	▲ 662	▲ 14.1
林野焼損面積 (a)	2,954	1,320	1,634	123.8
死者	40	50	▲ 10	▲ 20.0
負傷者	146	201	▲ 55	▲ 27.4
損害額 (千円)	1,875,183	2,098,275	▲ 223,092	▲ 10.6
出火率 (人口 1 万人当たり出火件数)	4.6	4.6	0	0.0

※ 出火率は、各年 12 月末現在の人口から算出

(2) 平成 21 年の出火原因別火災件数 (速報値)

順位	平成 21 年			平成 20 年		
	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比
1	たき火	159	12.1	たき火	161	12.2
2	たばこ	141	10.7	こんろ	160	12.1
3	放火の疑い	134	10.2	たばこ	153	11.5
4	放火	125	9.5	放火	125	9.4
5	こんろ	118	8.9	放火の疑い	111	8.4
6	火あそび	78	5.9	火あそび	66	5.0
7	火入れ	51	3.9	ストーブ	42	3.2
8	電灯・電話等の配線	30	2.3	火入れ	40	3.0
9	マッチ・ライター	30	2.3	電灯・電話等の配線	33	2.5
10	ストーブ	26	2.0	配線器具	27	2.0
—	その他(不明・調査中を含む。)	424	32.2	その他(不明・調査中を含む。)	407	30.7
	計	1,316	100.0	計	1,325	100.0

2 危険物施設等における事故

平成 21 年中の危険物施設等における事故発生件数は 28 件であり、平成 20 年に比べ 15 件の増加となっている。

火災の主な原因は、維持管理不十分が 3 件となっている。

破損の原因は、交通事故が 2 件、確認不十分及び設計不良が各 1 件である。

漏えいの主な原因は、腐食疲労等劣化が 6 件、操作確認不十分が 5 件である。

(1) 事故発生状況

危険物施設等 事故別	総数	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク 貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所
火災	6						
爆発							
破損	4					1	1
漏えい	17					1	3
その他	1						
合計	28					2	4

危険物施設等 事故別	屋外取扱所	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	運搬中	その他
火災		2		3		1
爆発						
破損		2				
漏えい		5		7		1
その他		1				
合計		10		10		2

(2) 月別事故発生件数

事故の種類 月別	総数	火災	爆発	破損	漏えい	その他
1月	4	1			3	
2月	3			1	2	
3月	5				4	1
4月	1			1		
5月	2	2				
6月	1				1	
7月	2				2	
8月	3	1		1	1	
9月	2	1			1	
10月	1				1	
11月	3			1	2	
12月	1	1				
合計	28	6		4	17	1

3 火薬類の事故

平成21年中の火薬類災害事故発生件数は2件であった。

自宅の裏庭で不用になった黒色火薬を処分しようとして、火のついた紙に火薬を少量ずつ落としたところ、爆発し、火傷を負った事故が1件発生。また、煙火の打ち上げ後、煙火玉が落下し、車両の上に落ちて開発し、大会関係者の車両2台が損傷した事故が1件発生している。

【火薬類災害事故発生件数】

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
産業火薬		1					1			1
煙火		2		1	1			1		1
その他										
合計		3		1	1		1	1		2

4 ガスの事故

平成21年中のガスによる事故は22件で、平成20年に比べ1件の減少となっている。内訳は、工業用ガスによるもの12件、LPガスによるもの（都市ガス・簡易ガスは除く）5件、都市ガス・簡易ガスによるもの5件であった。

人的被害は、工業用ガスによる負傷者1名、民生用LPガスによる負傷者2名の計3名で、平成20年に比べ5名減少した。

事故の状況としては「工場」における「設備等の不良」が最も多く、7件発生している。

【ガス事故発生件数】（都市ガス・簡易ガスを除く）

区分	発生原因別件数					負傷者数
	誤操作	工事不良	設備等の不良	その他	計	
1月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店		1		1	
	工場	1			1	2
	その他					
2月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店		1		1	
	工場		2		2	2
	その他					
3月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場		1		1	1
	その他					
4月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場				1	1
	その他					
5月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
6月	一般住宅・アパート	1			1	1
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
7月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場			2		2
	その他					
8月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場			2		2
	その他					
9月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他			1		1
10月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
11月	一般住宅・アパート				1	1
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
12月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店	1				1
	工場					
	その他				1	1
合計	一般住宅・アパート	1			1	2
	旅館・飲食店	1		2		3
	工場	1		7	2	10
	その他			1	1	2

【ガス事故発生件数】（都市ガス・簡易ガス関係）

区分	発生原因別件数					負傷者数
	誤操作	工事不良	設備等の不良	その他	計	
1月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他			1		1
2月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
3月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
4月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他				1	1
5月	一般住宅・アパート			1		1
	旅館・飲食店					
	工場			1		1
	その他			1		1
6月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
7月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
8月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
9月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
10月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
11月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
12月	一般住宅・アパート					
	旅館・飲食店					
	工場					
	その他					
合計	一般住宅・アパート			1		1
	旅館・飲食店					
	工場			1		1
	その他			2	1	3